



平成29年3月1日

No.84

編集人
公益社団法人
兵庫県精神福祉家族会連合会
米 靖弘

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター6階 TEL.078-891-3871 / FAX.078-891-3872
Eメール hyokaren@citrus.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.hyokaren.or.jp>

“心のバリアフリー”を促進し、障がい者、 高齢者、健常者の共生社会を造ろう

(公社) 兵庫県精神福祉家族会連合会会長 米 靖弘

昨年は障害者差別解消法の施行に併せてJR等交通運賃割引の国会請願を皆さん協力をいただき推進してきました。しかし審議未了の結果となってしまい申し訳なくお詫び致します。しかし、我々全国の家族会はこれで諦めることなく、今年の国会には再度請願を行う等、目的達成まで皆でやり抜く決意をしています。今後とも何卒、ご支援ご協力をお願いします。他にも他障がいとの格差は多く残っており、一つ一つ解消に努めてまいります。

又、“2020年東京五輪・パラリンピック”開催が決定しました。昨年は“ブラジル五輪・パラリンピック”が南米初めての開催で、経済的にあまり裕福な国柄とは言えないが、国を挙げての歓迎事業で、大いに盛り上がり、大成功であったと思われます。日本中で昼夜を通してのTV放映等、オリンピックパワーの大きさを感じました。又、パラリンピックも、オリンピック同等の盛り上がりだったと思います。

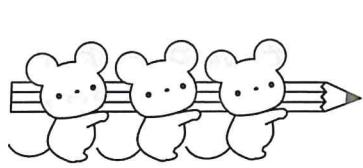
この成功の理由は国民総力の応援とボランティアの力と言われています。日本でも早速、オリンピック担当内閣官房が主体で「大会成功的条件として、安全安心、メダルもあるがパラリンピックを成功させるだけでなく、障がい者の方も、高齢者の方も健常者の方も一緒に共生社会を造ることが最大の課題と考えます。」との発言で“バリアフリー分科会”を設立、推進しています。

精神障がい者の地域社会に於ける“偏見や差別”においては、今まで長い間、据え置かれてきた“こころの健康教育”を義務教育の段階より再開し、誰もが精神障がい者を正しく理解し直す必要があります。又、“地域の自治学習会”等にも精神障がい者への理解を深める企画を要望したいと思います。

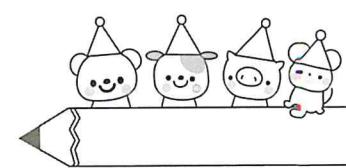
「兵家連」では昨年から、県より補助金を頂き「こころやすらぐひろば」事業を始めました。家族会主催で休日の作業所等を開放し、障がい者、家族、地域の方々をお招きして交流を深めて行きたいと企画しました。皆様も気軽に「こころやすらぐひろば」にお越しいただき、本事業を盛り上げて下さい。

又、「兵家連の賛助会員拡大キャンペーン」を展開しています。一人でも多くの人々に我々の思いや活動を知っていただき、精神障がい者への理解とご支援をお願い致します。

障害者差別解消法が施行され、“東京五輪・パラリンピック”が目前の今こそ、皆で大きく、声を上げていくことが大切です。会員及び支援者の皆様のご支援ご協力をお願いします。



ご 報 告

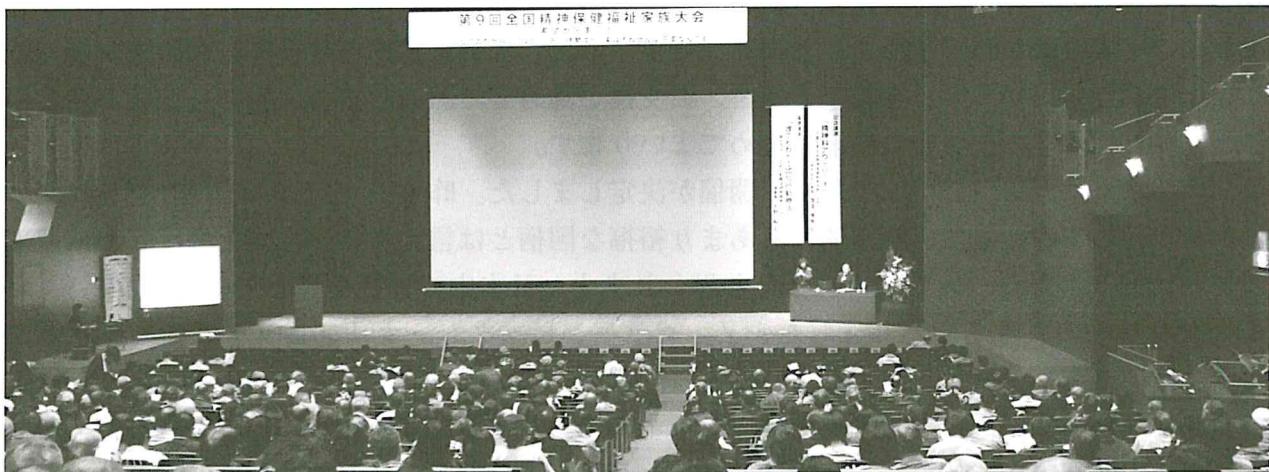


みんなねっと全国大会を三重県津市で開催

第9回全国精神保健福祉大会（みんなねっと三重大会）が、三重県総合文化センターで、10月27日(木)、28日(金)に全国より1,200名が参加し盛大に開催されました。大会のテーマは「希望が三重～る～ピアの力、アウトリーチ、伊勢エビ 実はそれぜんぶ三重なんです～」でした。

1日目は、開会式に引き続き、基調講演「誰でもわかる認知行動療法」(講師 大野裕氏)、「みんなねっとの活動報告」(みんなねっと理事長 本條義和氏)「行政報告」(厚生労働省 占部亮氏) 記念講演「精神科アウトリーチ」(講師 渡邊博幸氏)。

2日目は5つの分科会に分かれて、「広げようアウトリーチ」「元気な家族会に」「安心してくらせる社会を目指して」「ピアカフェ」について研修しました。「ピアカフェ」においては、ゲストにお笑い芸人の松本ハウスさんが参加しました。午前中で全国大会は無事終了し、午後には「お笑い、こころピアサミット」と題して、松本ハウスさんの講演会（入場無料）が企画されました。来年の全国大会は10月19日(木)、20日(金)に岡山県倉敷市で開催されます。



近畿ブロック家族の集い

平成28年度近畿ブロック家族の集いが11月20日(日)に京都市の龍谷大学響都ホールにて開催されました。第1部は大阪大学准教授、蔭山正子先生の講演「家族への暴力は精神障がい者からのSOS」と、第2部は「松本ハウスのコント&トーク」で、いずれも精神障がい者と家族に限りない勇気と希望を、また励ましと大きな展望をいただきました。また会場からの質問にも熱が入り、大いに勉強になりました。



兵庫県議会 および 神戸市議会議員 精神保健研究会

兵庫県議会議員精神保健研究会会員名簿 (28. 4.12 現在)

会 派	会 員 (◎は世話人) 計47名			
自由民主党 (29)	◎山本敏信 (高砂市)	釜谷研造 (加古川市)	石川憲幸 (丹波市)	黒川治 (尼崎市)
	原テツアキ (淡路市)	高橋しんご (東灘区)	盛耕三 (相生市)	北浜みどり (灘区)
	岡つよし (加古郡)	五島壯一郎 (姫路市)	永田秀一 (南あわじ市)	北川泰寿 (西宮市)
	松本隆弘 (明石市)	藤本百男 (加東市)	仲田一彦 (三木市)	安福英則 (朝来市)
	水田裕一郎 (姫路市)	福島茂利 (兵庫区)	中田慎也 (伊丹市)	奥谷謙一 (北区)
	藤田孝夫 (養父市)	加田裕之 (長田区)	◎小西隆紀 (篠山市)	大谷かんすけ (尼崎市)
	川井田清信 (伊丹市)	伊東傑 (須磨区)	吉岡たけし (垂水区)	戸井田ゆうすけ (姫路市)
	山口晋平 (たつの市・揖保郡)			
公明党・ 県民会議 (9)	越田浩矢 (長田区)	谷井いさお (尼崎市)	島山清史 (須磨区)	下地光次 (尼崎市)
	あしだ賀津美 (北区)	坪井謙治 (伊丹市)	◎岸本かずなお (加古川市)	
	北条やすづぐ (姫路市)	天野文夫 (姫路市)		
ひょうご県民 連合 (4)	◎黒田一美 (垂水区)	上野英一 (神崎郡)	前田ともき (東灘区)	
	越田謙次郎 (川西市・川辺郡)			
日本共産党 (2)	◎ねりき恵子 (宝塚市)	きだ結 (東灘区)		
無所属 (3)	丸尾牧 (尼崎市)	大前はるよ (西宮市)	樋野孝人 (須磨区)	

兵庫県議会議員精神保健研究会は各地区別に意見交換会を実施しています。各市においても「市会議員精神保健研究会」の設立を望みます。

神戸市会議員精神保健研究会会員名簿 (28. 6 現在)

会 派	会 員 (◎は世話人) 計50名			
公明党 (12)	吉田謙治 (西区)	◎壬生潤 (垂水区)	沖久正留 (中央区)	堂下豊史 (北区)
	大澤和士 (垂水区)	藤本浩二 (西区)	菅野吉記 (兵庫区)	高瀬勝也 (灘区)
	北川道夫 (東灘区)	向井道尋 (須磨区)	軒原順子 (長田区)	徳山敏子 (北区)
日本共産党 (12)	松本のり子 (東灘区)	赤田勝紀 (垂水区)	西ただす (東灘区)	林まさひと (西区)
	◎金沢はるみ (北区)	山本じゅんじ (須磨区)	味口としゆき (灘区)	
	朝倉えつ子 (北区)	森本真 (長田区)	大かわら鈴子 (兵庫区)	今井まさこ (垂水区)
	大前まさひろ (中央区)			
民進党 (4)	新原秀人 (兵庫区)	諫山大介 (灘区)	前島浩一 (西区)	高岸栄基 (東灘区)
日本維新の会 (5)	山本のりかず (北区)	住本かずのり (須磨区)	◎外海開三 (東灘区)	
	高橋としえ (西区)	光田あまね (中央区)		
民主こうべ (9)	◎藤原武光 (垂水区)	川内清尚 (垂水区)	平木博美 (中央区)	池田りんたろう (北区)
	川原田弘子 (垂水区)	人見誠 (北区)	大井としひろ (須磨区)	岩田嘉晃 (西区)
	永江一之 (灘区)			
自由民主党 (8)	北山順一 (長田区)	安達和彦 (須磨区)	◎山口由美 (西区)	むらの誠一 (須磨区)
	植中雅子 (北区)	安井俊彦(東灘区)	坊池正 (西区)	しらくに高太郎 (垂水区)

神戸市では定例家族会に県会議員・市会議員の方々が参加しています。心の病を理解し、行政に働きかける役割を担っています。

精神障害者の福祉施策充実に関する

要望書への回答

※要旨、【 】内が県回答

精神障がい者に対する格差解消の推進

(1) 精神障がい者相談員の法制化及び活性化、スキルアップを図って下さい。

【法制化は国に提案しております、今後も引き続き行なっていきます、また研修内容の見直し及び「こころやすらぐひろば」など活動の場つくりを図っていきます】

(2) 重度障害者医療費助成（全科無料）の対象を精神 2 級まで拡大して下さい。

【厳しい財政状況において、当面は 1 級の枠組みを維持していきたい】

(3) 兵庫県の障害年金の審査が他県に比べて厳しい問題の解決を急いで下さい。

【国において「ガイドライン」が策定され昨年の 9 月から運用されている。結果を注視したい】

精神障がいの理解活動の展開

(4) 精神疾患に関する「こころの健康教育」を義務教育段階から採用して下さい。

【国において次期学習指導要領が検討されており、県としてはその動向を注視していきたい】

(5) 教育委員会から自治学習会で「精神障がい者への理解」を取り上げるよう働きかけて下さい。

【市町組合教育委員会の指導主事等に精神保健福祉センター等が作成した資料を提供し、地域内の学習会等において活用するよう指導している。また、「こころやすらぐひろば」周知を図っていく】

精神障がい者の就労促進

(6) 雇用モデル事業等の調査、検討を実施して下さい。

【県精神保健福祉センター、職親会と対応しています。必要であれば専門家を招き検討したい】

(7) 企業に対する精神障がいの理解を深める研修等を実施して下さい（合理的配慮の徹底）。

【雇用トータルサポーターにより就労支援と企業意識を啓発。県の理解促進研修や雇用促進セミナーを実施中。また、「合理的配慮アドバイザー」を委嘱、派遣して助言等を行っています】

(8) 定着率向上のための就職後の障がい者へ企業は社員教育・育成を充分に行って下さい。

【障害者就業・生活支援センターを中心に企業、関係機関と連携し、定着支援を行っています】

当事者及び家族支援に関する要望

(9) 当事者活動、家族会活動に対する県(保健所)及び市町の支援の強化を図って下さい。

【兵家連に委託している家族教室、相談員活動等の活動は今後も支援します。またピアサポーターとして活躍の場が拡大できるよう検討を進めるとともに、制度化を国に要望して行きたい】

(10) メリデン版訪問家族支援技術への協力をお願いします。

【より良い手法等があれば、可能な限り取り入れていく検討を進めます】

精神福祉医療の改善に関する要望

(11) グループホームを生活地域に精力的に拡充して下さい。

【病院敷地内設置については今後の検討課題で展開を見守ります。報酬単価の引き上げについては国に提案しています】

(前頁からの続き)

(12) 精神科訪問看護等、アウトリーチ型医療福祉の充実を図って下さい。

【健康福祉事務所単位で連絡会を実施し、保健師、顧問医、市町職員等がアウトリーチを重視した相談体制を整備しています】

(13) 医療現場で不必要的隔離・拘束及び薬物の多量・多剤投与の問題が無いかを調査して下さい。

【毎年、病院の実地指導で調査し、指導を行っており特に問題はありません。今後も人権と適正な医療・保護に対応します】

(14) 精神科初期救急及び合併症対応の医療機関の整備拡充を図って下さい。

【初期救急は当番病院制度で対応中。姫路統合計画では合併症対応は含む、西宮統合計画は、あり方についての検討段階で未定】

(15) 自立支援医療の自己負担無料化を国に働きかけて下さい。

【低所得者の利用者負担の無料化を国に提案しています】

以上

第12回兵庫県障害者芸術・文化祭 平成28年度兵庫県障害者福祉大会

日 時 平成28年12月3日（土）13：00～16：00 場 所 淡路市立しづかホール

今年の芸文祭は、淡路市立しづかホールで開催されました。

プロ グ ラ ム

13：00 オープニングステージ

■子どもミュージカル劇団 FUNKYキッズ

第12回兵庫県障害者・芸術文化祭 第1部

■県立あわじ特別支援学校（ソーラン節）

■県立龍野北高等学校&西はりまリハビリテーションセンター（ファッショショーンショー）

平成28年度障害者福祉大会（表彰式）

兵庫県知事表彰

障害者3団体（兵家連、兵身協、育成会）代表者表彰

第12回兵庫県障害者・芸術文化祭 第2部

■東加古川病院（ダンス）

■五色精光園「五色太鼓“響”」（和太鼓）

■淡路ぬニセタ（うた三線）

16：00 閉会



おめでとうございます

兵家連会長表彰受賞の皆さん

個人の部	住 所	所 属
中村 瞳	香美町	のぎく家族会
松末 義昭	加西市	はとの会
武田 恵輔	姫路市	NPO法人はりま福祉会
大坪 慎一	姫路市	NPO法人はりま福祉会
立花 茂	加古川市	NPO法人すぎなの会
臼井珠純野	丹波市	NPO法人かたくり
窪田 潤子	姫路市	NPO法人中播磨峰の会

団体の部	所在地	代表者
木の芽家族会	神戸市	藤田 瞳
いきいき家族会	淡路市	大谷 俊





「ずっとこの街で暮らしたい」 その気持ちを大切に支えたい

岩尾クリニック 岩尾俊一郎

2014年1月、精神科医になって30年が過ぎ、それまで精神科病院の勤務医として働いてきた私は、学生時代を過ごしていた六甲道で喜多川神経科クリニックを継承して開業しました。病院勤務の終盤には、もっと生活の場の近くで仕事がしたいと思い、六甲の街角に開業してやっと自分の守備範囲が決まった気がしております。開業から3年が過ぎ、診療時間の合間に往診や訪問診療を始めて、少しずつ生活の場での診療に踏み込み始めました。訪問診療は主に高齢者を対象にしていますが、ひきこもりの方のお宅にも私と職員が交互に訪問しています。往診は決して即応的とは言えませんが、さまざまな理由で受診できなくなっている方の診療、危機介入を行っています。

街角の診療所なので診療を求める方はすべて受け入れていますが、統合失調症圏の方の割合が通院患者の35%ほどと一般的な精神科診療所より少し高くなっています。この点は統合失調症圏の方を中心とした精神障害者の生活を支えたいという開業の動機に合致しています。地域での生活支援では、孤独や不安にともない揺れ動く精神症状の安定とともに、生活の場の維持や近隣の人々との関係調整など生活障害への援助が大切です。当事者を中心にして、医療機関だけで関わるのではなく、訪問看護ステーション、ヘルパーステーションなど地域の関係機関との連携を図りながら生活支援を行うように心がけています。当院では経験豊かで当事者の傍らで寄り添いながら仕事ができる精神保健福祉士で保健師の職員が、当事者の意向を大切にしながら関係機関との調整を行っております。

統合失調症圏の当院の利用者の30%は単身生活であり、20%は夫婦で生活されています。両親や家族と生活されている約半数の方の内、33%の方は75才以上の高齢者の家族と暮らしておられます。家族だけが支えとなっていることが多いと思われるこうした方に、これからもずっと現在の地域で暮らしていく様子に、当事者の気持ちを大切にして利用できる社会資源を組み合わせて支えていきたいと思っています。

『月刊みんなねっと』 購読のお願い

兵家連では家族会の全国組織である「みんなねっと」の活動を支え、更に発展を促す為に『月刊みんなねっと』購読者の拡大活動を行っています。各地域の家族会が購読の勧誘に参りますので、何卒ご協力の程よろしくお願いします。

賛助会員(購読料金)の種類と年会費

個人賛助会費：3,600円／人 団体賛助会費：3,000円／人 特別賛助会費：5,000円／口

TOPICS 兵庫県下各地・各家族会から (1)



地域の中で家族会と連携して ～三木やすらぎ工房～

ほのぼの会・NPO法人そよかぜねっと 代表 伊東 久雄

秀吉の干殺し攻めにあった三木城近くの金城館の小さな部屋で16年前、数名の通所者・職員からスタートしたのが、やすらぎ工房である。その後三木市のはからいで現在の元三木水道局事務所の土地・建物を借用し、やすらぎ工房運営は家族会ほのぼの会から、2009年地域市民有志も参加の理事会による“NPO法人そよかぜねっと”に移り、市内唯一の精神障害者中心の就労継続支援B型事業所として利用契約者22人、非常勤含め7人の職員、漸く初めて職員から抜擢された若い施設長とともに通所者一日平均14人（2015年度）で活動している。

ふりかえれば、苦くてつらい時期も経て、今ハンディと共に生きる本人が働く喜び、仲間とのつながり、生活のリズムを見出し、仕事熱心な職員が和気あいあいと支える場になっている。たとえば、2013年大阪府立大松田博幸准教授を招いて「オープンダイアローグ」の薬に代わる実践紹介研修会、通所者家族も交えての「親亡き後」等の勉強会、そして北播磨地区「こころの病家族教室」など、会員数の減っていくほのぼの会と共に、やすらぎ工房職員の多大の協力を得て実現した。2015年「共感寄付」（公益財団法人ひょうごコミュニティ財団が県内のNPO・市民活動団体の活動を紹介し、寄付による協力を呼びかける仕組み）に応募、『精神障がい者の夢をカタチに』と事業を紹介して送迎車購入資金に協力をお願いして多くの人から貴重な寄付金を得て、通所者送迎の大型送迎ワゴン車購入資金の一部に活用できた。その時接した人々の暖かい気持ちに大変感激した。また、「やすらぎニュース」「そよかぜねっと通信」を発行、地域住民・支援機関等に配布、ネットHPを創り、精神疾患・精神障害者についての理解と啓発に努めている。すぐ隣りに開設されて7年になる、立派な市立障害者総合支援センター「はばたきの丘」と共存共栄している。当事者をケアする家族が人生の晩年を迎える時、やすらぎ工房の若い職員の熱意に励まされながら、地域に支えられて将来も私たちの課題に向き合いたい。

(アトラクションから筆者カット→)



ひょうかれん
賛助会員
募集

あなたのご支援で、ひょうかれんは運営されています！

年会費 団体の場合 1口 10,000円

個人の場合 1口 3,000円

一口以上、何口でも結構です

振込先 郵便振替 01110-4-83568 兵家連



TOPICS 兵庫県下各地・各家族会から (2)

東播・淡路 「淡路島におけるピアサポート活動の成果」 地区

みはら家族会 会長 山口 勇樹

『ピアサポート活動』。淡路島でこの活動が始まったのは平成22年。ピアソーターの養成講座を新淡路病院の障害者生活支援センターと洲本健康福祉事務所が共同開催したことからスタートしました。現在は、講座を受講した当事者のうち9名が活動しており、これまでに地域移行支援として42名の退院支援を、26名の地域定着支援に継続して関わり、当事者の地域生活を支えています。また、平成25年からは洲本健康福祉事務所の保健師と協働してアウトリーチによる個別支援活動を開始し、医療が中断したり、ひきこもっていた多くの当事者を就労支援プログラムや当事者の集い等につなげています。ほかにも、地域における緩やかな当事者の居場所・仲間づくりを関係機関と連携してすすめしており、現在、島内12ヶ所でピアソーターが主体となって運営しています。

こうした活動による成果には、前述したもののはか、『家族』が回復したピアソーターに出会うことによって、「わが子の将来に対する希望を持つきっかけになった」という家族の変化が挙げられます。途切れていた支援や地域、さらには親子のつながりの再構築をもすすめる『ピアサポート活動』の今後益々の発展を願っています。

P R

— NPO法人 中播磨峰の会 —

峰の会作業所

(就労継続支援B型)

軽作業・お菓子作りをやってます (^O^)/

〒679-2204 神崎郡福崎町西田原1399-1

TEL : 0790-22-7537

Email : nakaharimaminenokai@yahoo.co.jp

「こころやすらぐひろば」

地域の皆さんのお喋りの場

日時：毎月 第3土曜日

11時～15時

場所：三木市緑ヶ丘町東4-3-1

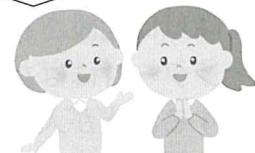
レクリエイト

就労継続支援 B型 事業所

ひまわりグループ三木地区 ほのぼの会

連絡先 携帯：090-853-8222

地域の皆さん、当事者、
ご家族どなたでも遊びに
来て下さい♪



事故があつても 事故がなくとも

契約期間中は
保険料変更なし！

ご契約期間中に事故や
保険料改定があつても
ご契約時に定めた保険
料は変更されません。

自動車保険を
見直しましょう！
知らないのは
あなただけ !!

株式会社ヒューネルエフイーエー 関西支社
〒550-0003 大阪市西区京町堀1-4-16 センチュリービル7F
Mobile : 090-7108-0369 (Wakunami)

「こころやすらぐひろば」

地域の皆さんのお喋りの場

日時：毎月 第1土曜日

11時～15時

場所 小野市片山町1033-5

ひまわりグループ（小野地区）

カフェそれいゆ

NPO 法人 ひまわり会

TEL : 0794-70-8989

携帯 090-2108-9452

地域の皆さん、当事者、
ご家族どなたでも遊びに
来て下さい♪





私も家族会で救われました！！

木の芽家族会 匿名

精神の病気を全く知らず、薬をもすがる思いで木の芽家族会に参加しました。

私たち親は子供の成長に夢を持ち、生まれた時の喜び、幼稚園・小学校・中学校・高校さらに生活費を削って希望する大学へと進学！いずれ私たち夫婦のように伴侶を見つけ幸せな家庭を築いてくれるもの信じていました。

しかし、ある日突然、子供の言動は恐怖すら思わせる姿へと変身しました。何があったのか？うろたえる毎日、私たち自身も、誰も精神の病気を知りません。一生懸命育てた子供の姿を見ているとかわいそうで仕方がありません。親の育て方が悪かったのでは？遺伝の仕業か？転勤先で学校でのいじめからか？悔いる毎日です。

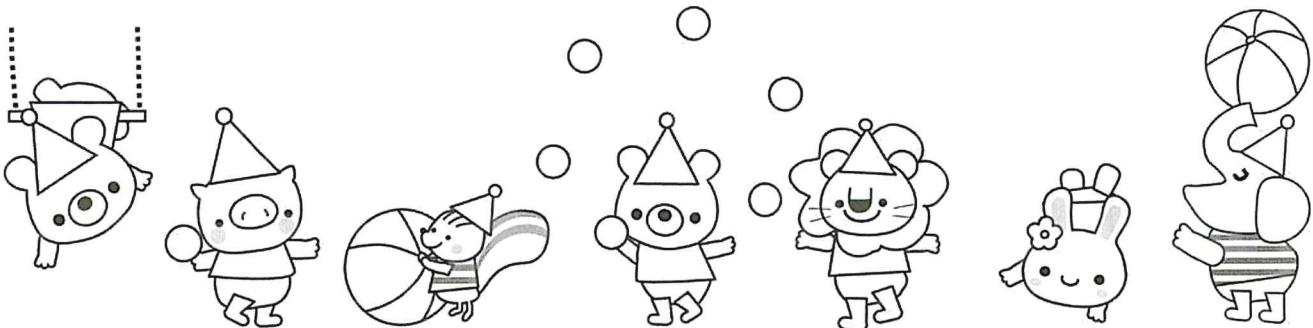
立派な医師、大学の講師の話を聞いても、病気で苦しんでいる子供の回復とはなりません。診療所の医師は本人との対話があるものの、薬の調合でのモルモットに思えてしまいがちです。

ある日、知人の紹介にて木の芽家族会を知りました。毎月第二日曜日午後の定例会には座る席すらない人たちで一杯です。50名以上、男の方も多く、そこには必ず専門家(医師、看護師、社労士、臨床心理士、精神福祉士、時には、薬剤師、行政職員、何故か県議員、市議員等)が入れ替わり参加されています。

家族で臨床心理士、精神福祉士の資格取得された方もいます。我が子の病気回復のためへの挑戦には尊敬いたします。

毎月、2~3名は私たちのような心境を抱えた母親、両親が訪れます。涙を流しての悲痛な子供の状況発表には周りの家族の方々も一緒に涙を流します。専門家からの助言、家族の体験からの助言は訪れた方々のみならず周りの家族にとっても励みとなります。病気について、薬について、子供への対処方法、会場は明るさと活気で満ちています。

専門の先生によるSSTがあります。つい感情が高ぶり子供に対して罵倒を浴びせがちです。かわいそうと思う気持ちから子供の自立を親が閉ざしがちです。子供にも親にも人生があります。どう生き抜くかが大切でしょう。医療費を無料にと挑戦するグループもあります。多くの苦悩を抱えた家族が訪れ明日への勇気をもらえる家族会です。





「いけるところまでいこう」

林 竜太

私は、29歳の時に阪神淡路大震災にあいました。

その時、父と二人で工務店を営んでいた私は、震災の次の日から朝、昼、夜中、寝ずに働き通す日々が続きました。

そんな過酷な日々が、4年間経ったある朝、ベッドから起き上がれない燃え尽き症候群と幻覚、幻聴、幻視、幻臭、あらゆる事がおそってくる統合失調症を発症しました。

家のベッドで療養する日々が、1年以上続きました。

自殺願望でいっぱいの日々、希望のない日々が続くなか、母は、付き添い、また、動けるようになるよ、いけるところまでいこうと元気づけてくれました。

少し状況が、良くなった私は、瀬戸物屋、薬屋、運送屋で働きましたが、どこも3ヶ月続かずベッドに逆戻りの連続でした。

37歳の時にクリーニング工場の軽作業の仕事についていた私は、精神薬のせいで体が重く、思うように仕事ができなくなり、職場でいじめにあいましたが、なんとか一年間働いた後、気を失い、緊急入院となりました。

その後も駐車場の管理人をしましたが、また入院でした。

絶望感でいっぱいだった私に、病院は、中央むつみ会を紹介してくれました。

作業所で働きだした私は、やっと居場所ができた、ここでがんばろう、命が、救われた思いがしました。

作業所で約3年働いた後、薬の副作用で両手のマヒが出た後は、むつみ会の有志の方々のコーラスグループに入り、老人ホームの慰間にまわりました。

その後、むつみ会の「障がいがあって生きる体験談を語る事業」のメンバーに入り、小学生、中学生、大学生、専門学校生、市民講座等で障害についての体験を語っています。

また、障害をもつ者同士が助け合う自助グループのお世話役をさせてもらっています。

気づけば病気になって18年、夢中で生きてきましたが、私の根底には、母のことば、

「いけるところまでいこう」という教えが、いつも支えてくれています。

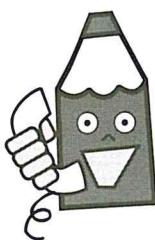


お気軽にご相談ください
ひょうかれん電話相談

TEL. 078-891-3886
ハロー
土・日・祝日を除く平日10:00~12:00, 13:00~15:00

病気の事や経済的なこと、くらしの悩み、福祉制度(手帳・年金・他)
利用の手続きなどについて、県から相談員として委嘱された家族会員や
精神保健福祉士などが相談に応じます。ぜひご利用ください。

電話 相談



Q&A

電話相談室担当 P S W

【就労支援について】

今回もご相談いただいたご家族からの事例を取り上げたいと思います。

なお、秘密厳守の立場から内容は若干変更させていただいております。

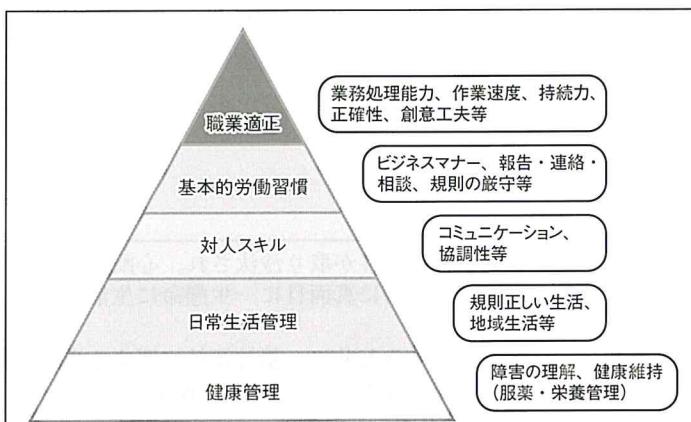
相談者：当事者の親

質問

現在30歳の息子は、就職してまもなく、職場での悩みなどから、統合失調症を発症しました。現在は就労継続支援B型に通っています。これまで、調子が良くなればアルバイト等にチャレンジしてきましたが、いずれも数ヶ月持たず再発し退職…を繰り返しています。本人は「就職したい」と言い、親としても応援したいですが、これまでの様子を見ていると、病気を抱えながら働くようになどなるのか不安です。

回答

「はたらくことは生きること」という言葉を聞いたことがあります。息子さんの「働きたい」という思い、応援してさしあげたいですね。病気と付き合いながら働くことは、決して不可能ではありません。働く上で大切なのは、①健康・病気や障がいの管理、②生活リズム・日常生活管理、の土台を整えること。その上に③対人スキル、④基本的労働習慣、⑤職業適性、といった具体的な要素を積み上げていきます。それらの要素の中で、病気や障がいによって弱まってしまっている部分は、個人個人で違います。そんな個々の課題や希望、目標に沿って、その方の「はたらく形」を支援するサービスは、実は沢山あります。障害者雇用を含めた一般就労を目指し、就労訓練を提供する「就労移行支援」もその一つです。先に挙げた①、②の土台の上に積み上げていく要素を育てていくため、作業や企業実習、対人スキル、履歴書の書き方や面接などの訓練を行います。また、単純に「就職」をゴールとするのではなく、「仕事を続けること」＝「就職後の定着支援」こそが大切だと言われており、「ジョブコーチ」という職場適応を支援する制度もあります。地



域には「就業・生活支援センター」や「就労推進センター」、「障害者職業センター」、「ハローワークの専門援助窓口」など、就労に関しての相談窓口も沢山開けています。様々な制度を利用しながら、ご自身のペースに合った「はたらく形」を見つけていくといいですね。

兵家連活動日誌 役員の動き

(平成 28 年 9 月～12 月)

KSKP

発行人：関西障害者定期刊行物協会／大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4F
 一九八四年八月二〇日第三種郵便物認可 每月（一・二・三・四・五・六・七・八の日）発行

定価：五十円

- | | |
|--|---|
| <p>9 月</p> <ul style="list-style-type: none"> 9 公明党政策要望懇談会
〈ひょうご女性交流館〉 (米・涌波・南部・新銀) 14 県精神科病院協会第51回レク活動発表大会
〈姫路市文化センター〉 (松尾)
会誌 #84編集会議 〈県福祉センター〉 (米・伊東・松尾・寺田・代田) 21 兵庫県障害者スポーツ協会第17回理事会 〈兵庫県県民会館〉 (涌波)
家族による家族学習会 担当者研修会の事前準備
〈兵家連事務所〉 (河上) 22 ひょうかれん家族による家族学習会 担当者研修会
〈県福祉センター〉 (米・河上) 25 第28回全国車いすマラソン大会 〈篠山市役所前〉 (涌波) 26 家族による家族学習会 担当者研修会の事後処理
〈兵家連事務所〉 (河上) 29 県社協評議員会 〈県福祉センター〉 (米) 30 こころやすらぐひろば運営説明会
〈アスピア明石〉 (米・南部・新銀・山口・大谷・大畑・窪田) 1 日本共産党兵庫県国政懇談会 〈兵庫県中央労働センター〉 (涌波) 9 第26回きょうだい会 〈県福祉センター〉 (新銀) 14 第60回兵庫県知的障害者福祉大会
〈南あわじ市文化体育馆 (元気の森ホール)〉 (米・南部) 19 兵庫県障害者雇用・就業支援ネットワーク会議
〈中央労働センター〉 (南部) 20 但馬地区精神保健福祉研修会 〈豊岡市民プラザ〉 (ロマンハウス家族会・米) 27 みんなねっと全国大会 (三重大会)
〈三重県総合文化センター〉 (米・南部) 31 兵庫県障害福祉課 三方様・川見様来訪
〈県福祉センター〉 (米・涌波・新銀・河上) 4 障害者雇用促進シンポジウム 〈兵庫県立姫路労働会館〉 (本條) 6 メンタルケアフットサル大会
〈兵庫県立障害者スポーツ交流館〉 (涌波) 11 兵家連平成28年度第2回理事会 〈県福祉センター〉 (理事・幹事・顧問) | <p>11 月</p> <ul style="list-style-type: none"> 12 中・西播磨地区精神保健福祉研修会
〈たつの市新宮ふれあい福祉会館〉 (あおぞら家族会・米・本條) 17 第10回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会
「精神障害者の部～パラーボール大会」〈グリーンアリーナ神戸〉 (涌波)
平成28年度社会福祉法人一羊会こんぱすの現地調査
〈社会福祉法人一羊会こんぱす (西宮市)〉 (新銀) 20 近畿ブロック家族の集い 〈京都龍谷大学響都ホール〉 (米・涌波・本條) 24 自民党県議団 (絆の会) 懇談・視察 〈姫路市国際交流センター〉 (本條) 26 第15回精神障害者の障害年金支援研究会
〈三宮コンベンションセンター〉 (米) 3 第12回兵庫県障害者芸術・文化祭
〈淡路市立しづかホール〉 (米・南部)
家族教室西播磨地区 (上郡町) 〈上郡町商工会議所〉 (ほっと・みのり家族会) 5 家族教室但馬地区 (豊岡市) 〈豊岡健康福祉センター〉 (ロマンハウス家族会・新銀) 6 家族教室東播・淡路地区 (洲本市)
〈県立淡路医療センター〉 (いきいき家族会・南部) 8 地域の就労支援力底上げのための障害者就労支援研究会
〈加古川市民会館〉 (南部) 11 家族教室神戸地区 (神戸市) 〈県福祉センター〉 (木の芽家族会)
第27回きょうだい会 〈県福祉センター〉 (新銀) 12 月 兵家連電話相談員研修会打ち合わせ 〈県福祉センター〉 (河上) 13 全重協近畿ブロック12月オープンイベント
〈ホテルクラウンパレス神戸〉 (米) 15 兵庫県企画県民部 法人検査 〈兵家連事務所〉 (米・事務局) 16 丹波・北播磨地区精神保健福祉研修会
〈三木市立教育センター〉 (ほのぼの会・南部) 18 藤井克徳さんと考える「やまゆり事件」〈奈良市立中部公民館〉 (米) 19 関サナ家族教室打ち合わせ 〈兵家連事務所〉 (石本) 21 県社協評議員会 〈県福祉センター〉 (米) 26 県との精神障がい者の福祉施策に関する要望説明会 〈県庁〉
(米・涌波・南部・新銀・河上) |
|--|---|

※役員会 (10/ 3・12/ 7 県福祉センター 米・涌波・南部・新銀・大倉・河上)

編集後記

最近、相模原事件や精神保健指定医不正事件の事件が取り沙汰され、心配しています。精神障害を患う方々、又その家族の方々は、現実は、非常に眞面目に一生懸命に生活し、病とたたかっています。

兵家連誌では、それらの家族会の活動を応援すると共に、精神福祉に関する貴重な情報誌でありたいと思っています。皆様方からの要望等をお聞かせください。(南部)

編集委員/米・涌波・南部・伊東・松尾・代田